認　定　書

国住指第1453号
平成15年8月20日

寺岡オートドア株式会社

代表取締役　吉田　敬　様

国土交通大臣臨時代理
国務大臣　　片山　虎之助

下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第６８条の２６第１項（同法第８８条第１項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第１１２条第１項（特定防火設備）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

ＥＡ－００８９

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

耐熱板ガラス入ステンレス製両引き戸（片開き機構付き、両袖窓付き）

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

1 構造名：
耐熱板ガラス入ステンレス製両引き戸（片開き機構付き，両袖窓付き）

2 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1　申請仕様の寸法

項　　目		申　請　仕　様
枠外幅	(WW)	2820～5620mm
枠内幅	(W)	2700～5560mm
開口幅（両引き）	(Wo)	1200～2750mm
開口幅（片引き）	(Wo)	520～1410mm
扉幅	(DW)	684.5～1459.5mm
開き戸扉幅	(dw)	591.5～1366.5mm
Ｆｉｘ扉幅	(FixDW)	795～1420mm
ガラス開口幅	(GW1)	364.5～1287.5mm
Ｆｉｘガラス開口幅	(GW2)	675～1300mm
枠外高さ	(HH)	1120～3100mm
開口高さ	(H)	800～2600mm
扉高さ	(DH)	818～2618mm
開き戸扉高さ	(dh)	740～2515mm
Ｆｉｘ扉高さ	(FixDH)	808～2608mm
ガラス開口高さ	(GH1)	300～2283mm
Ｆｉｘガラス開口高さ	(GH2)	300～2408mm
上枠見付寸法	(a)	320～500mm
上枠見込寸法	(a2)	224～344mm
たて枠見付寸法	(b)	30～50mm
たて枠見込寸法	(b2)	230～350mm
大扉上框見付寸法	(c)	100～350mm
開き戸上框見付寸法	(c2)	82～300mm
開き戸下框見付寸法	(c3)	150～350mm
開き戸戸先たて框見付寸法	(c4)	130～300mm
大扉戸尻たて框見付寸法	(c5)	75～85mm
開き戸戸尻たて框見付寸法	(c6)	97～300mm
引き戸上框見付寸法	(c7)	100～300mm
引き戸下框見付寸法	(c8)	110～500mm
引き戸戸先たて框見付寸法	(c9)	97～300mm
引き戸戸尻たて框見付寸法	(c10)	75～300mm
Ｆｉｘ上枠見付寸法	(d)	90～350mm
幅木見付寸法	(d2)	110～500mm
方立見付寸法	(d3)	75～85mm
Ｆｉｘたて枠見付寸法	(d4)	30～85mm
周壁部の仕様	下部	湿式工法*1
	三方	湿式工法*1又は乾式工法*2

(注) *1　湿式工法：セメントモルタル等
　　*2　乾式工法：せっこうボード（厚さ15mm２枚重張）等

3 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2. 申請仕様の主構成材料

項　目	申　請　仕　様
上枠（エンジンケース） 上枠 たて枠 幅木 下レール 大扉上框 開き戸上框 引き戸上框 開き戸下框 引き戸下框 大扉戸尻たて框 開き戸戸先たて框 開き戸戸尻たて框 引き戸戸先たて框 引き戸戸尻たて框 方立 Fixたて枠 押縁	冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ　1.0mm～1.5mm
補強材１	溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）SGHC　厚さ　1.6mm
補強材２	溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）SGHC　厚さ　2.3mm
補強材３	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400　L－50×50×6mm
補強材４	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400　L－40×40×5mm
補強材５	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 FB.　厚さ 6mm、幅　50mm
補強材６	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 FB.　厚さ　4.5mm、幅　50mm
補強材７	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 FB.　厚さ　9mm、幅　38mm
補強材８	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 FB.　厚さ　9mm、幅　44mm
補強材９	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 FB.　厚さ　9mm、幅　50mm
補強材１０	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 FB.　厚さ　9mm、幅　50mm
カバー補強	溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）SGHC 厚さ　1.6mm
台板受け	溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）SGHC 厚さ　1.6mm
ガラス	耐熱板ガラス 厚さ6.5mm又は8mm（許容差　±0.3mm） ガラスの種類：ほうけい酸ガラス 熱膨張係数：3.3×10^{-6}／℃（常温～350℃） 密度：約2.2g/cm^3 耐風圧強度（ガラス１枚に対する許容荷重）：10237N（1044kgf）
構造形式	両引き又は片引き

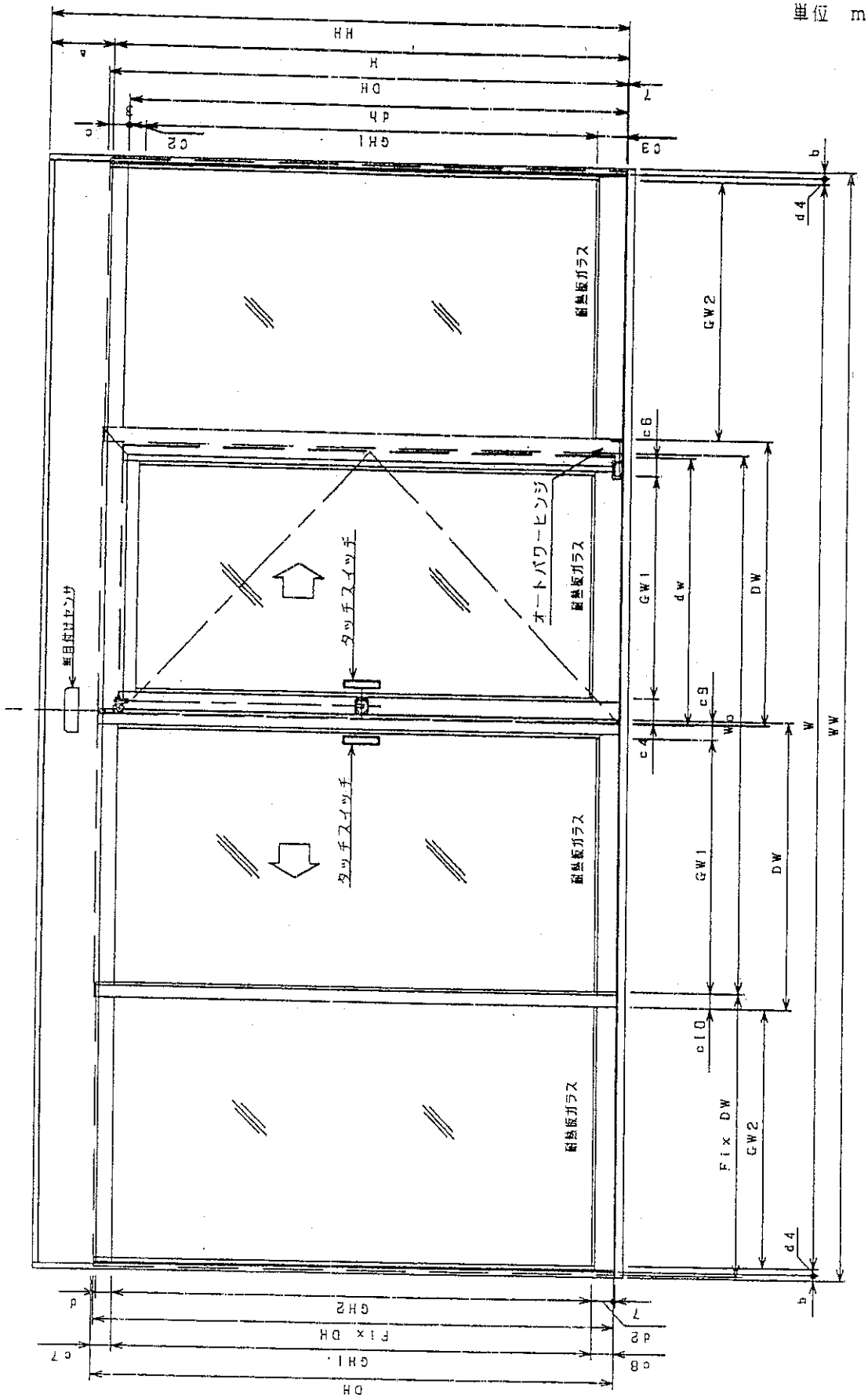
4. 申請仕様の副構成材料：
申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3　申請仕様の副構成材料

項　　目	申　請　仕　様
アンカー	溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302）SGHC 厚さ　2.3mm、取付間隔　350mm以下
目隠し板	冷間仕上げステンレス鋼棒（平鋼、JIS G 4318）SUS304 厚さ　5mm、幅　50mm
Fix固定金具	冷間仕上げステンレス鋼棒（平鋼、JIS G 4318）SUS304 厚さ　16mm、幅　32mm
ケースハンドル	熱間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305）SUS304 厚さ　1.0mm
ラッチボルト	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS330
ガラス押さえ	シリコーン系シーリング材
バックアップ材	セラミックテープ 厚さ　4.25mm、幅　17mm
セッティングブロック	繊維混入けい酸カルシウム板 大きさ　10～12×6×60mm
上レール	アルミニウム合金押出形材（JIS H 4100） 厚さ　5.0～9.9mm
吊板	冷間圧延鋼板（JIS G 3141） 厚さ　4.0mm及び6.0mm
戸車	プラスチックポリアミド（JIS K 6920）
オートパワーヒンジ	一般構造用圧延鋼材（JIS G 3101）SS400 油圧式
駆動装置	アルミニウム合金押出形材（JIS H 4100） 及びアルミニウム合金ダイカスト（JIS H 5302） 及び冷間圧延鋼板（JIS G 3141） 厚さ　1.6mm及び3.0mm
自閉装置	アルミニウム合金押出形材（JIS H 4100） 厚さ　1.5～2.5mm 又はばね用ステンレス鋼帯（JIS G 4313）SUS304-CSP 厚さ　0.2～0.3mm
検出装置（無目付けセンサ）	ＡＢＳ樹脂
検出装置（タッチスイッチ）	ポリカーボネイト
補助光電スイッチ	透過型光電スイッチ　ＡＢＳ樹脂
加熱発泡材	カーボングラファイト系 厚さ　1.5mm、幅　10mm
さび止め塗料	塩酸カルシウムさび止めペイント（JIS K 5629）
押縁止め小ねじ	材質　ステンレス鋼棒（JIS G 4303）　SUS304 胴部径Ｍ４×長さ20～25mm

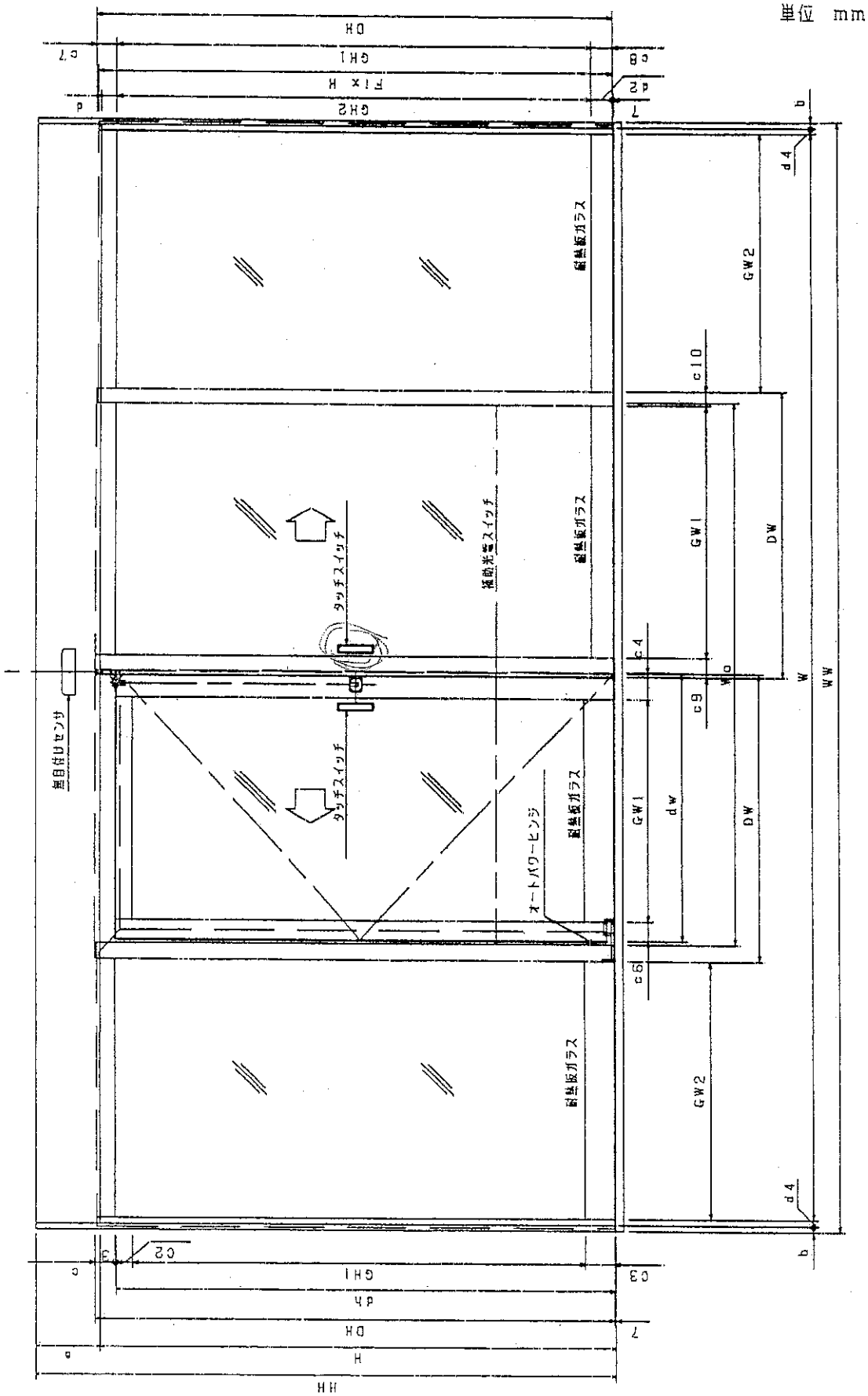
5. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1～図15に示す。

単位　mm

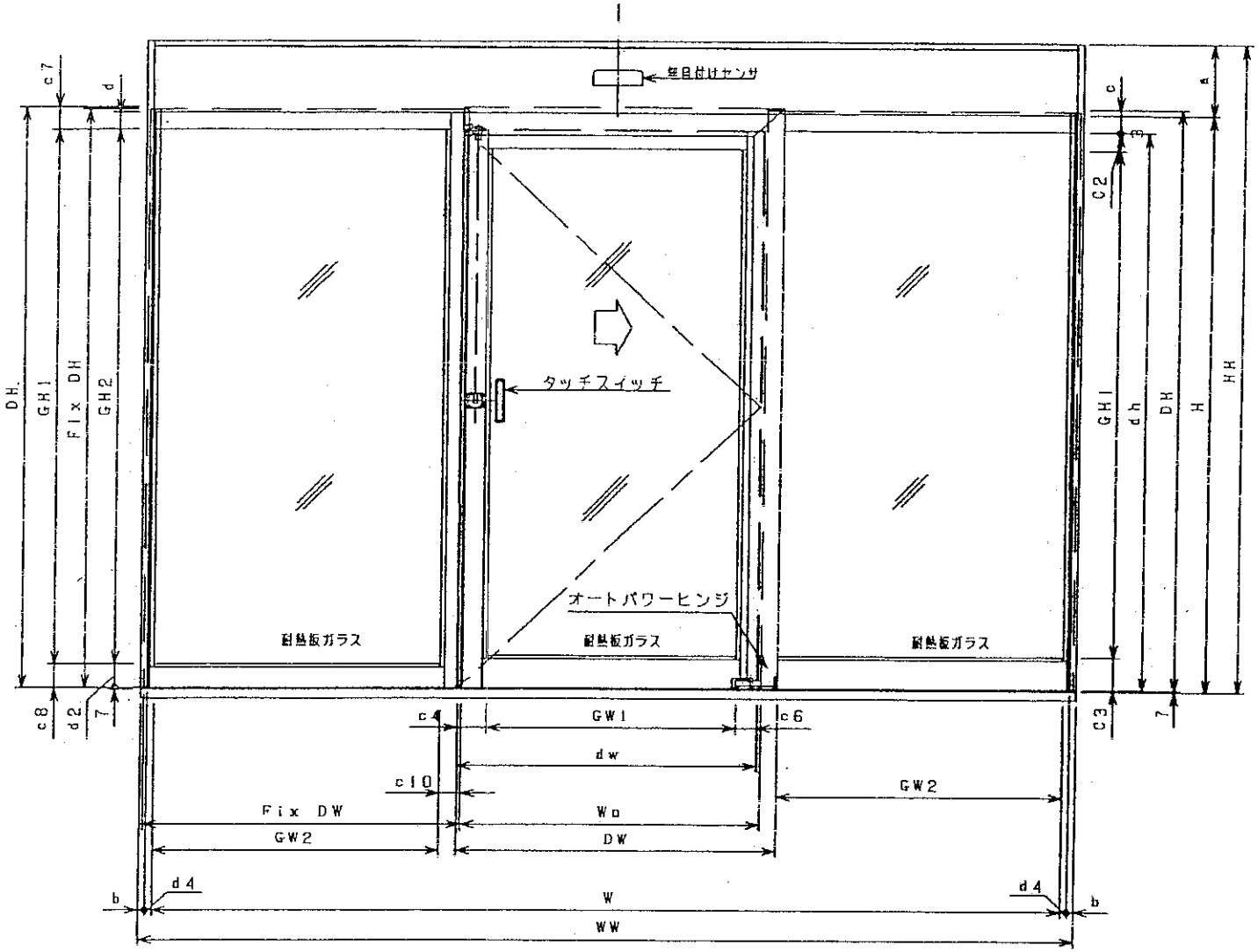


室内側立面図（片開き機構付、両引きタイプ）

5－1－図1　構造説明図


単位 mm
室外側立面図（片開き機構付、両引きタイプ）
耐熱板ガラス
耐熱板ガラス
耐熱板ガラス
耐熱板ガラス
タッチスイッチ
タッチスイッチ
オートパワーヒンジ
室目付けセンサ
GW2
GW1
DW
GW1
DW
GW2
WW
W
Wo
dw
c10
c9
c6
c4
d4
d4
b
b
DH
GH1
GH2
Fix H
d2
c8
c7
d
7
c2
c3
c
a
HH
H
dh

5－1－図2　構造説明図

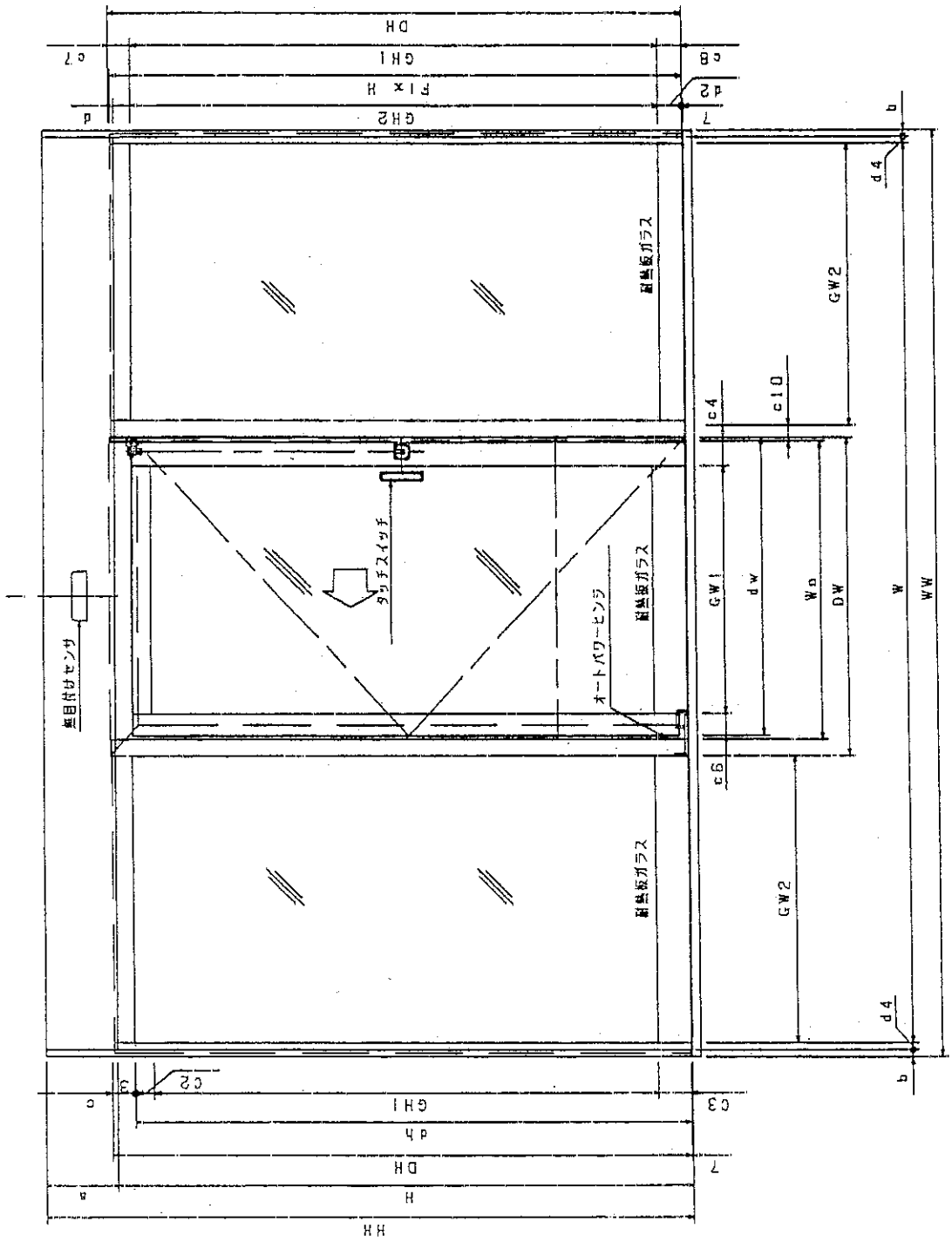


室内側立面図（片開き機構付、片引きタイプ）

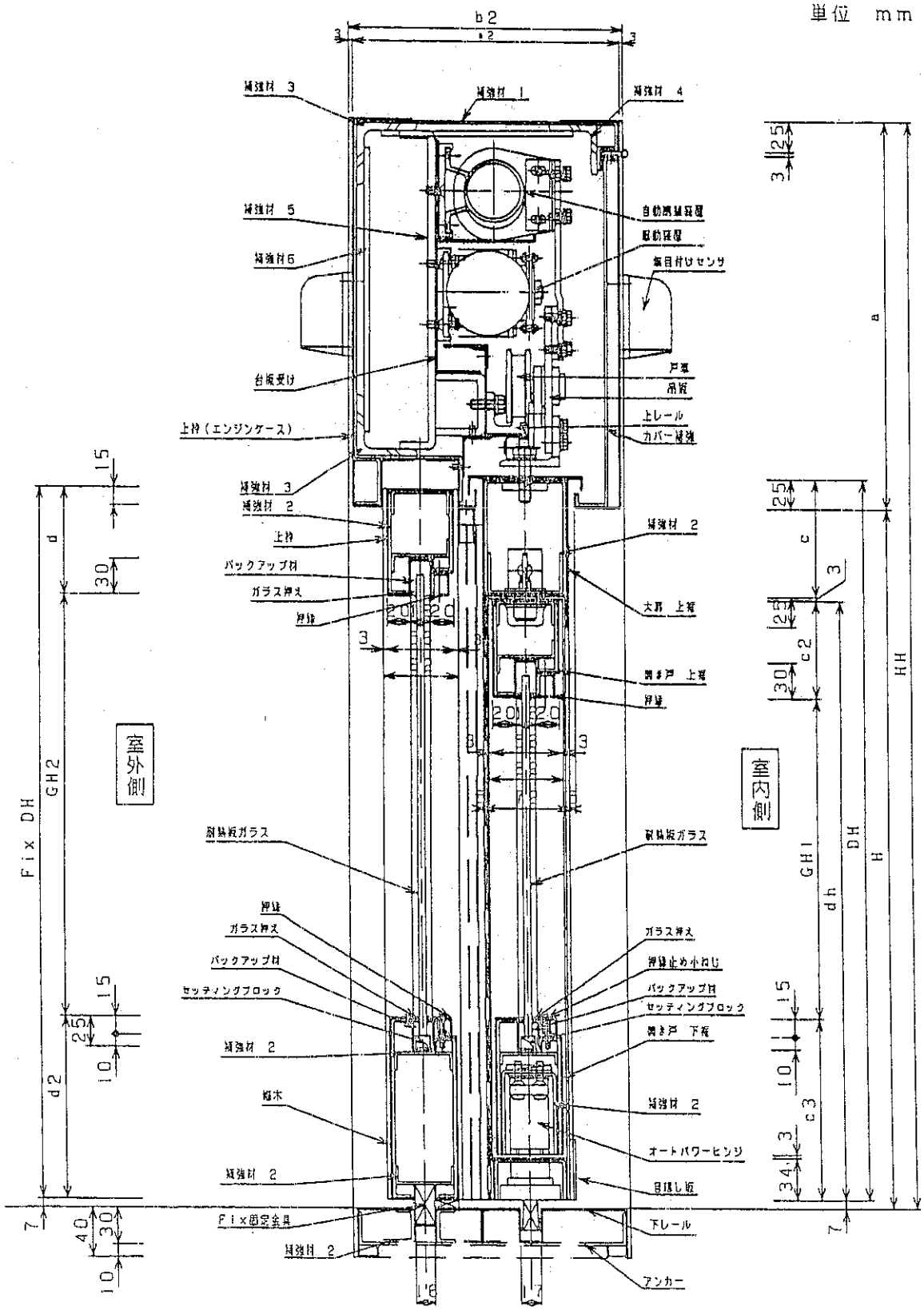
単位 mm

5－1－図3 構造説明図

単位 mm

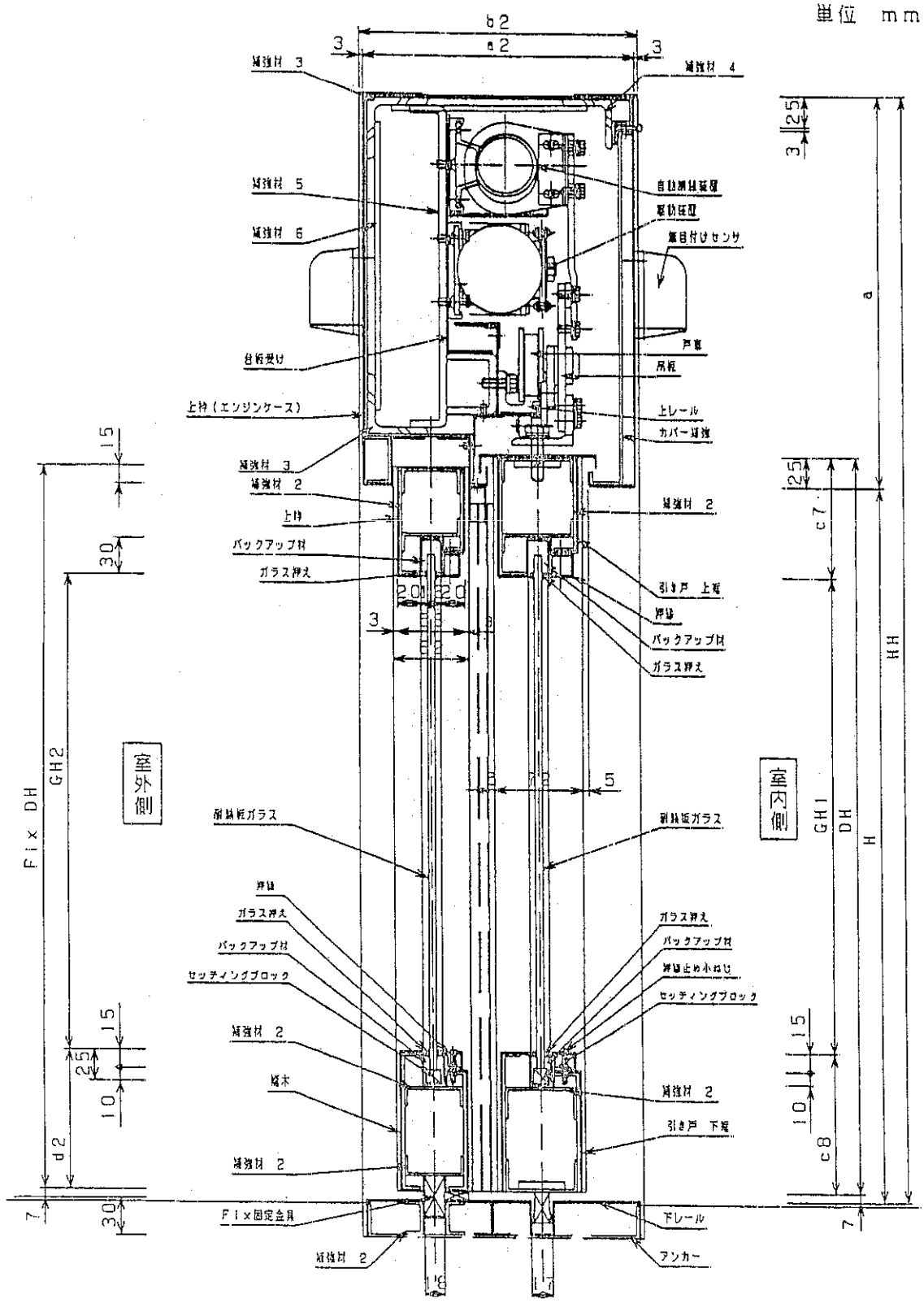


5－1－図4　構造説明図



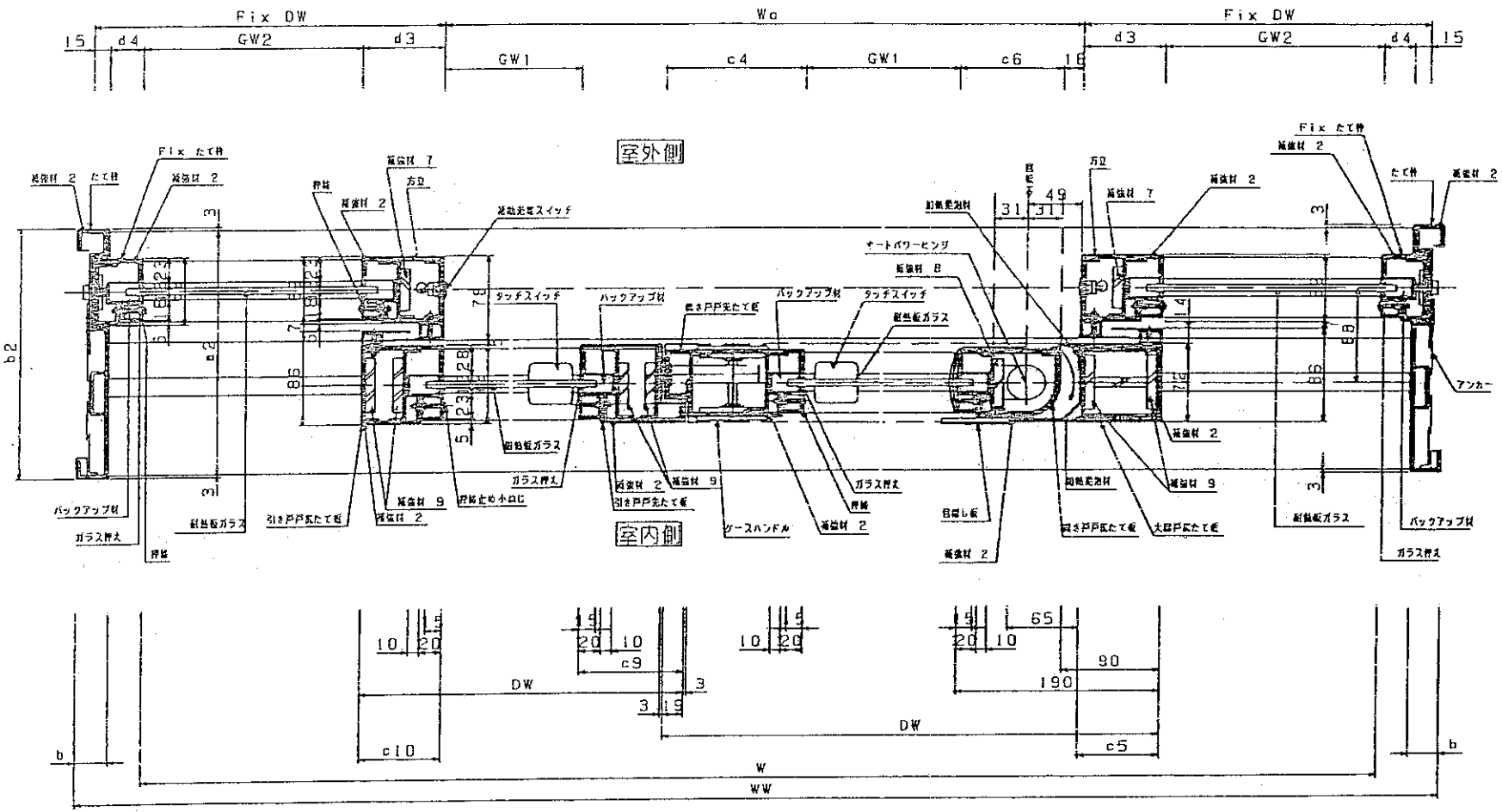
鉛直断面図（片開き機構付、片開き機構部）

5－1－図5　構造説明図



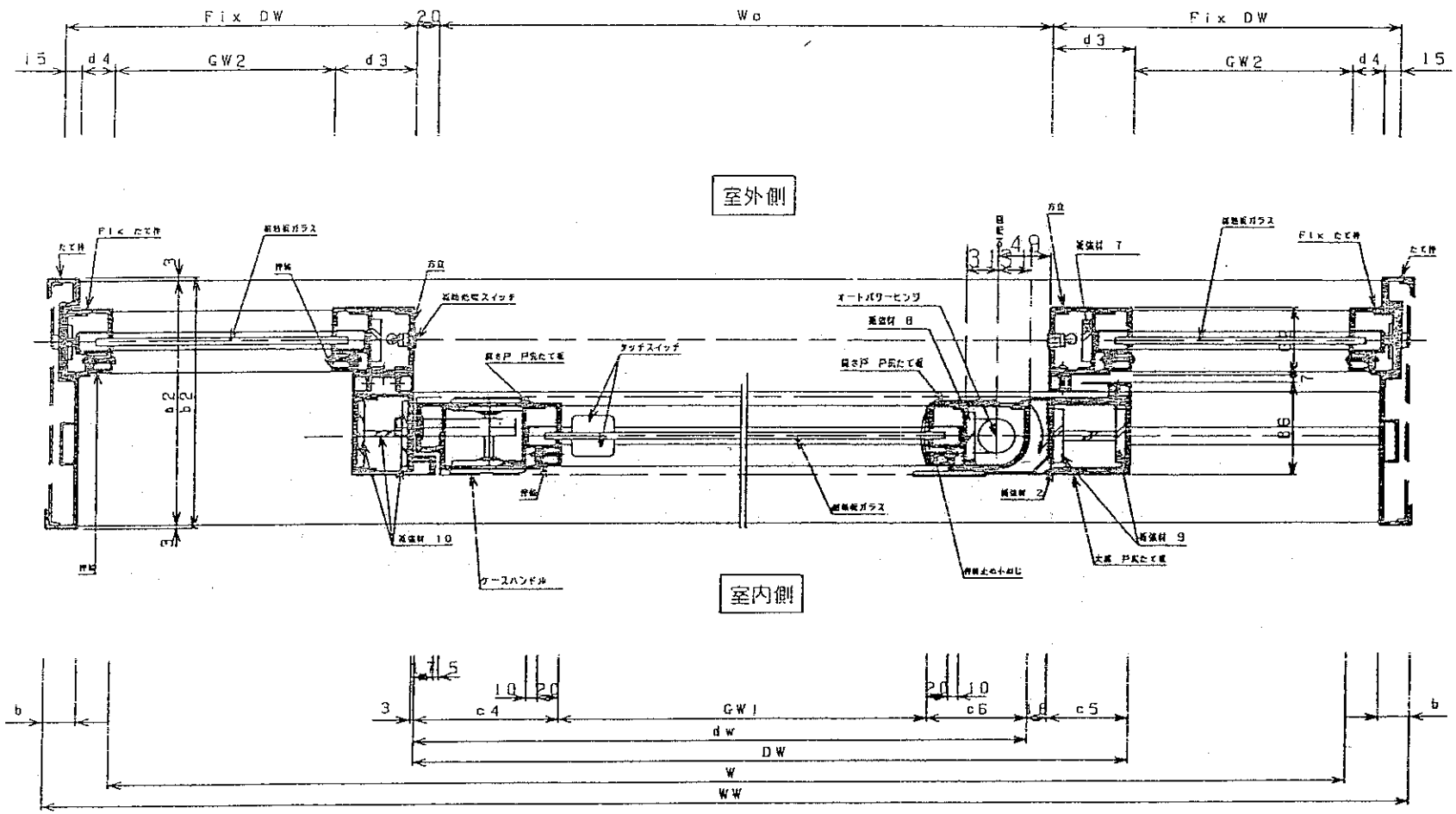
鉛直断面図（片開き機構付、引き戸部）

5－1－図6　構造説明図



水平断面図（片開き機構付、両引きタイプ）

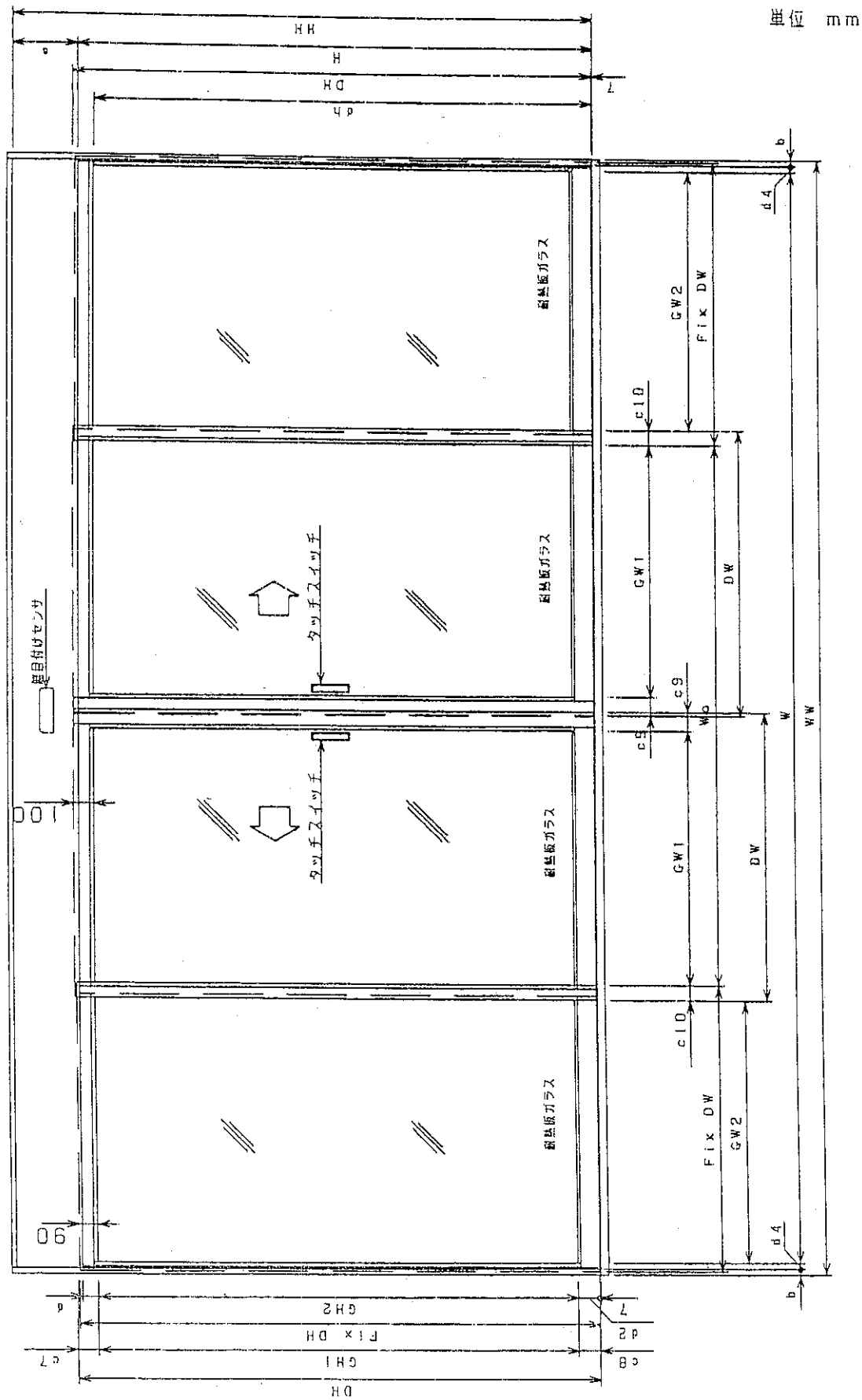
5－1－図7　構造説明図



水平断面図（片開き機構付、片引きタイプ）

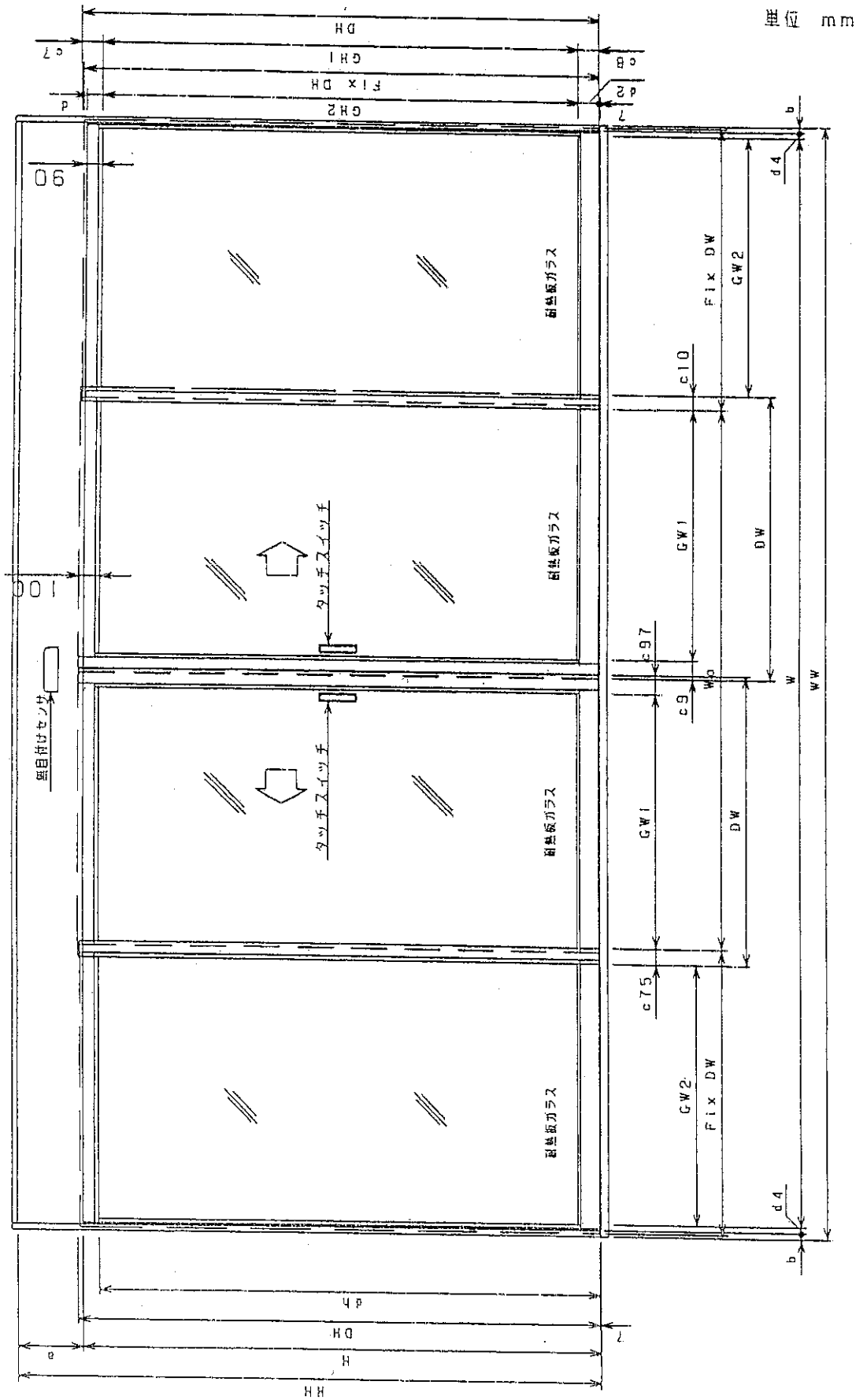
単位 mm

5－1－図8 構造説明図



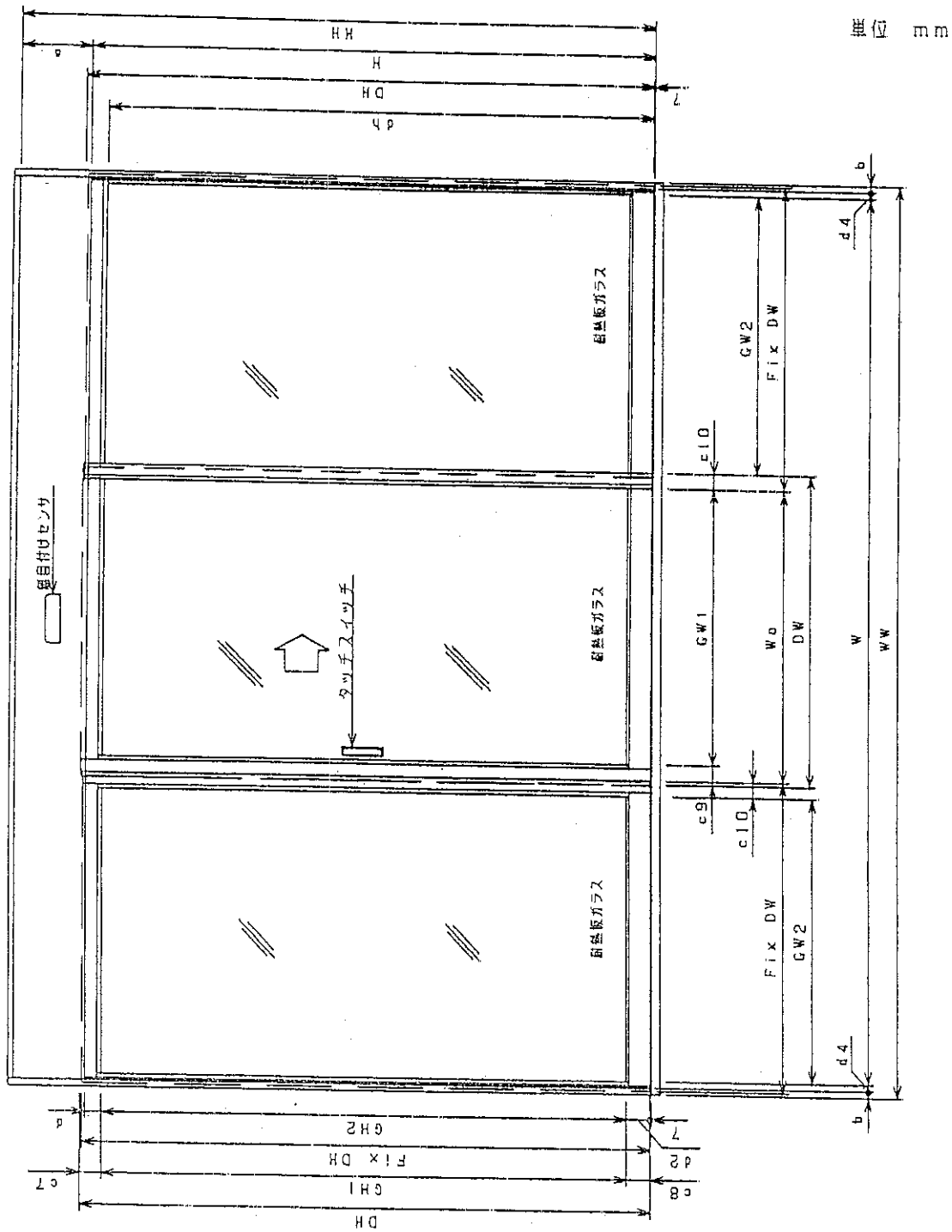
室内側立面図（片開き機構無し、両引きタイプ）

5－1－図9　構造説明図



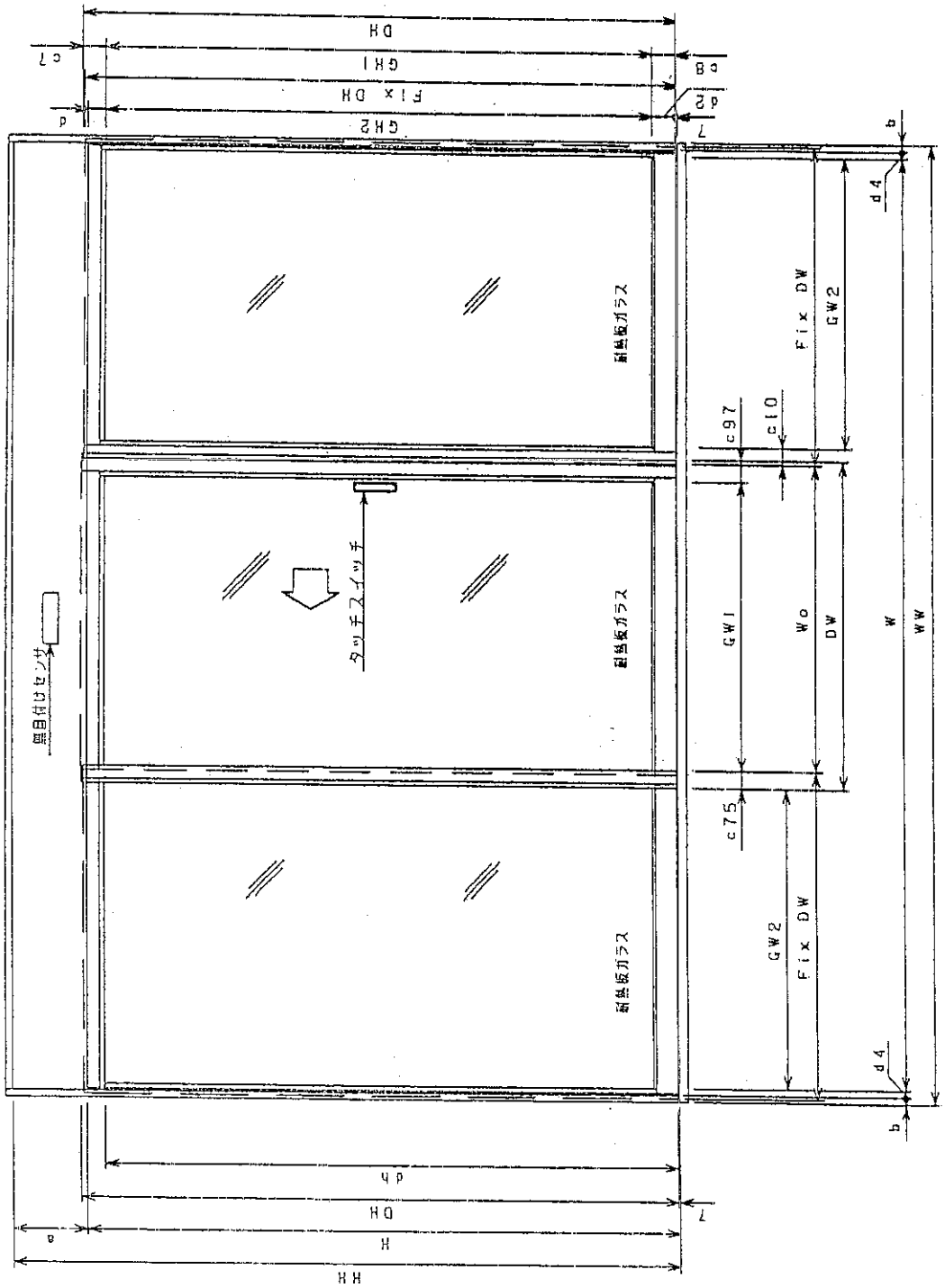
室外側立面図（片開き機構無し、両引きタイプ）

5－1－図10　構造説明図


単位 mm
室内側立面図（片開き機構無し、片引きタイプ）
耐熱板ガラス
耐熱板ガラス
耐熱板ガラス
タッチスイッチ
風向付けセンサ
DH
GH1
Fix DH
GH2
d2
c8
c7
d
d4
b
c10
c9
GW1
GW2
Fix DW
Wo
DW
W
WW
H
HH

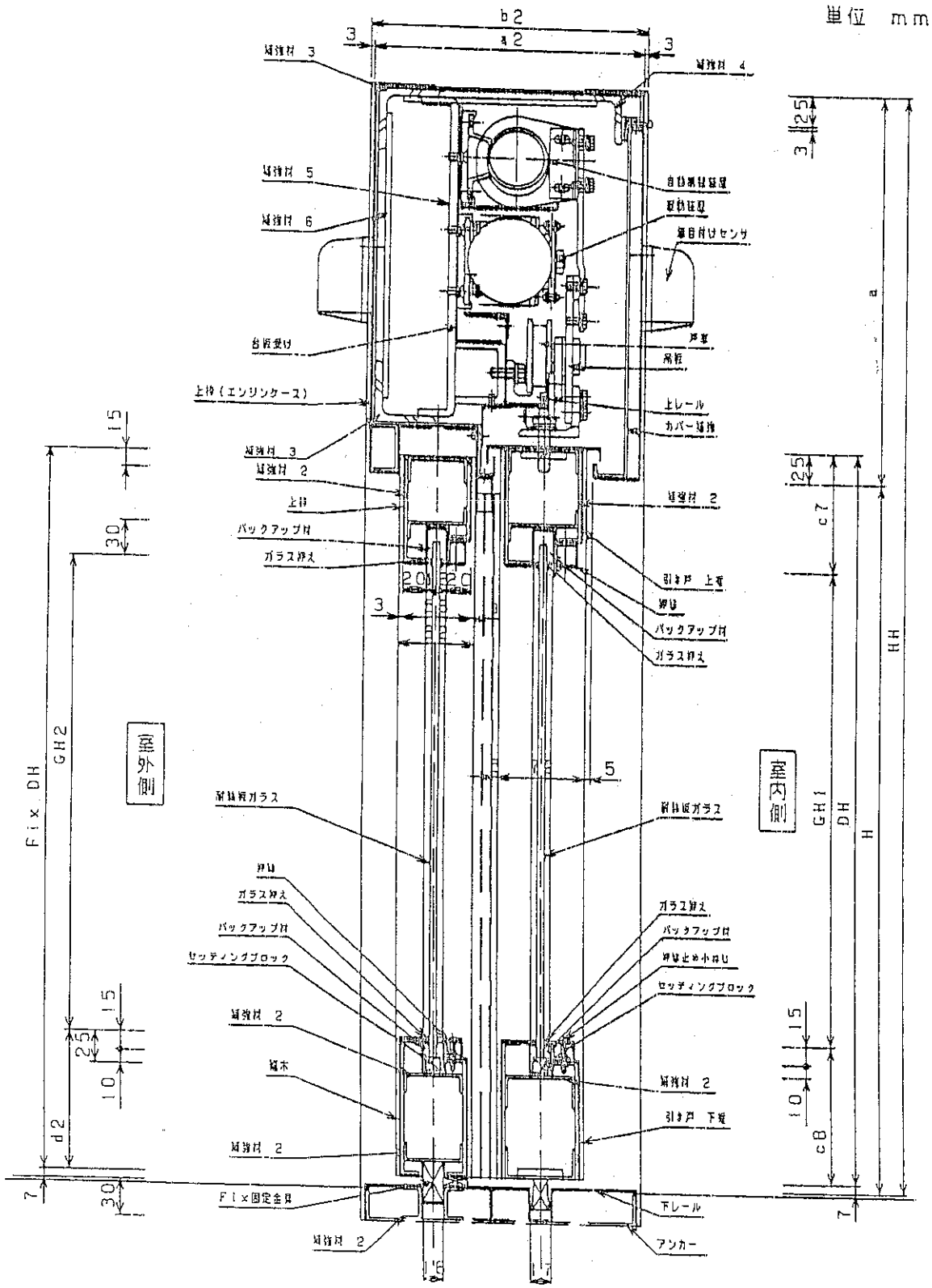
5－1－図11　構造説明図

単位　mm



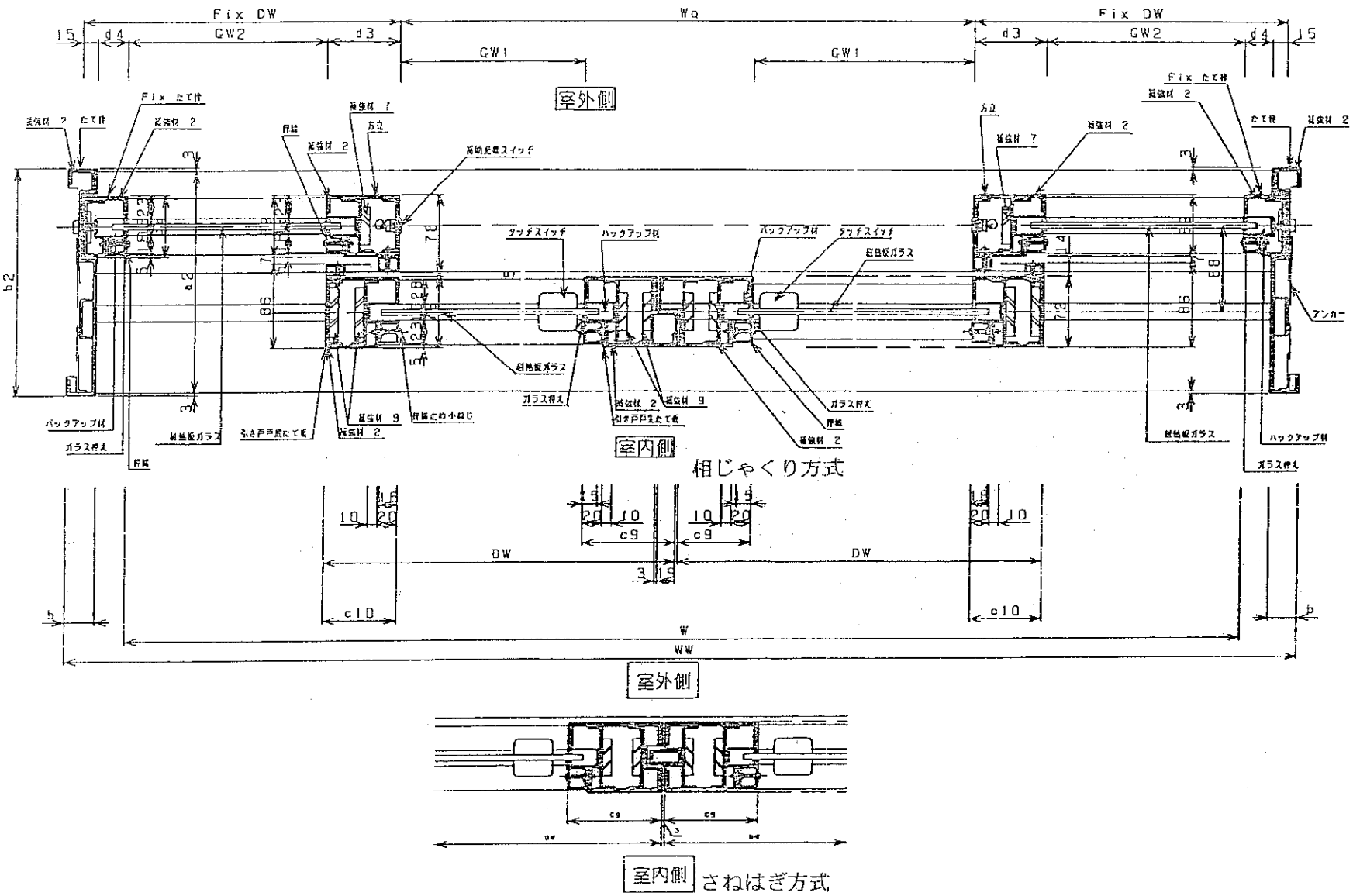
室外側立面図（片開き機構無し、片引きタイプ）

5－1－図12　構造説明図



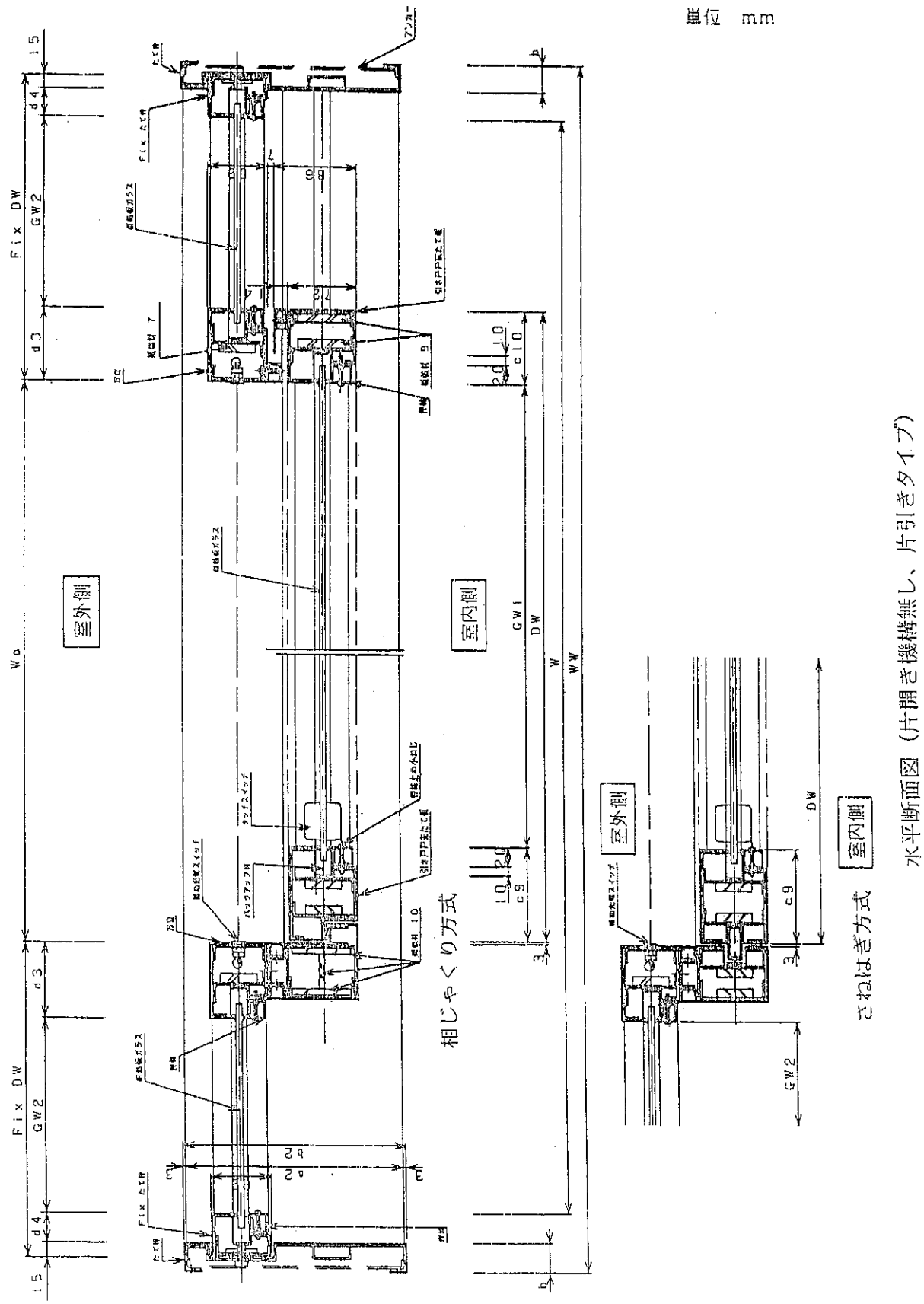
鉛直断面図（片開き機構無し）

5－1－図13　構造説明図



水平断面図（片開き機構無し、両引きタイプ）

5-1-図14　構造説明図



5-1-図15　構造説明図